

東京大学ゲノム医科学研究機構 2020年度シンポジウム

2021年3月25日(木) 13:30-17:35

ゲノム医科学のさらなる発展を目指して

ゲノム解析技術の飛躍的な発展により、国内外で大規模ゲノム配列解析計画が進行しています。東京大学では、2015年4月に総長室総括委員会の下の全学機構として「東京大学ゲノム医科学研究機構」を立ち上げ、ゲノム科学、医科学、情報科学等の研究者を結集し、ゲノム医科学の研究、教育、人材育成、社会への発信とゲノム医療の実装を目指した活動を展開してきました。これを母体として、本年4月1日からは「統合ゲノム医科学情報連携研究機構」を発足させ、さらなる飛躍を目指します。

本シンポジウムでは、ゲノム医科学の現状と6年間の活動を総括するとともに、新機構が取り組む新たな課題を提示し、議論します。

事前参加登録



ウェビナー

WEB会議システム「ZOOM」を利用したオンライン形式

00	13:30 - 13:50	開会挨拶 宮園 浩平 理事・副学長 渡辺 その子 内閣官房 健康・医療戦略室 次長
01	13:50 - 14:10	ゲノム医科学研究機構の活動と今後の展望 村上 善則 機構長・医科学研究所 教授
02	14:10 - 14:30	疾患の克服を実現するゲノム疾患学 辻 省次 国際医療福祉大学 教授
03	14:30 - 14:50	大規模計測技術の進展 鈴木 稜 新領域創成科学研究科 教授
04	14:50 - 15:10 (休憩: 15:10 - 15:20)	タイトル未定 田浦 健次朗 情報基盤センター センター長・教授
05	15:20 - 15:40	がんゲノムから見たアジアの胃がん 石川 俊平 医学系研究科 教授
06	15:40 - 16:00	タイトル未定 油谷 浩幸 先端科学技術研究センター 教授
07	16:00 - 16:20 (休憩: 16:20 - 16:30)	新たな知によるゲノム医科学 角田 達彦 理学系研究科 教授
08	16:30 - 16:50	スーパーコンピューティングによるゲノム研究の加速とゲノム医療の推進 井元 清哉 医科学研究所 教授
09	16:50 - 17:10	ロングリードによる疾患関連構造異常とセントロメア多様性の解明 森下 真一 新領域創成科学研究科 教授
10	17:10 - 17:30 総合討論	ゲノム医科学の現状と統合ゲノム医科学研究連携研究機構への期待 (司会) 菅野 純夫 千葉大学 特任教授
11	17:30 - 17:35	閉会挨拶 大崎 博之 新領域創成科学研究科 研究科長

【主催】

東京大学ゲノム医科学研究機構

Medical Genomics Research Initiative The University of Tokyo

メールアドレス: mgri.utokyo@gmail.com